



ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



上のQRコードを読み取ると、(公益社団法人)佐倉市シルバー人材センターのホームページが開きます。

令和元年 地区研修会報告

白井・千代田地区

10月24日(木) 午前11:00～

白井防災会館

式次第

【第一部研修会】

- 1 開会の辞 (司会) 若月副地区長
- 2 地区長挨拶 平田地区長
- 3 会長挨拶 田中会長
- 4 事務局報告 新保事務局長
- 5 研修会 交通安全講座
佐倉警察署 警部補 渡邊昭様

【第二部 懇親会】

- 6 乾杯 高橋公輔様
- 7 懇親会 (カラオケ・演芸・他)
- 8 中締め 高橋理事
- 9 閉会の辞 若月副地区長

10月24日に白井の防災会館で白井・千代田地区研修会が行われました。当日は地区参加者32名、シルバー人材センター本部からは、田中会長、弘松副会長、新保事務局長の3名、講師1名の合計36名が出席されました。

最初に田中会長の挨拶、次いで新保事務局長から事務局報告後、研修会があり、佐倉警察署交通課の渡邊警部補から交通安全講話がありました。最近の高齢ドライバーの自動車事故に関連して、注意、心構え、免許自主返納制度等の話があり、また交通死亡事故では、千葉県は愛知県に次いで全国ワースト2位だという話には改めて気持ちを引き締めなければという思いでした。

交通安全講話の後懇親会があり、カラオケ大会では、日頃鍛錬されているのど自慢の男女が美声を競い合い、大いに盛り上がりました。

地区研修会の準備をされた幹事の方々、お疲れさまでした。

取材担当／広報委員 田端 直樹

根郷・弥富地区

11月9日(土) 午前10:00～

南部福祉センター 大広間

根郷弥富地区研修会が、11月9日(土) 10時から、南部福祉センター大広間で行われました。参加者は、会員42名、田中会長、新保事務局長、講師3名の47名、司会は、三須地区長です。

今回の研修は「認知症の予防と対応方法:実践編」で、講師は、長谷川病院の理学療法士の嶋田さん、作業療法士の桐谷さんと南部地域包括支援センター管理者の高梨子さんです。

まず、嶋田さんから認知症予防についての興味深い講話がありました。中でも予防策として、定年後も負担になりすぎない仕事をするのがよく、シルバー人材センターで仕事をしていることは素晴らしいことでした。



次に、桐谷さんがギターを弾きながら、クイズを出して和んだ後、座ったままで楽しみながらできる体操を行いました。皆さん笑いながら、結構熱くなりました。

高梨子さんからは、高齢者の問題については、南部地域包括支援センターに相談してくださいとの話がありました。

ちらし寿司弁当の昼食のち、参加者全員で自己紹介をしました。また、抽選会、ジャンケン大会では、地元特産品のお茶、お味噌各種、ハーブソースなどの景品をゲット、楽しく懇親を深めることができました。

取材担当／広報委員長 長田 成児

佐倉・和田地区

11月26日(火) 午前10:00～

ワークプラザ 2F 会議室

今年の研修会は、研修会と懇親会をワークプラザで開催しました。センターから、田中会長と田中常務理事にご出席いただき、参加者は36名でした。

研修会は、今年度の安全標語(気のゆるみ手もと足もと再確認)を全員で唱和し開会。



岡本地区長と田中会長のご挨拶。田中常務理事からご挨拶とセンターの報告をいただき、佐倉市消費生活相談員の高石さんからシニア向けの講演です。「高齢者を狙う悪質商法の被害防止のために」

- ①甘いセールストークを鵜呑みにしない。
- ②自ら情報収集して比較検討する。
- ③仕組みが理解できない契約を申し込まない。
- ④必要ないものはきっぱり断り、相手の話を長く聞かない。
- ⑤個人情報を出さない。
- ⑥留守番電話を利用する訪問販売に対応しない。
- ⑦誰にでも被害にあう可能性がある。困ったときは相談する。

貴方の大切な老後資金を守りましょう。「おやっ」と思ったら佐倉市消費生活センター(043-483-4999)へご相談ください(匿名でも)とのことでした。

松花堂弁当の昼食と懇談。お楽しみ抽選会の後、散会となりました。夕方は、二次会・カラオケで懇親を深めました。

取材担当／広報副委員長 岩淵 功

事例研究発表会

テーマ「会員拡大について」

千葉県シルバー人材センター連合会
(以下「千シ連」)主催の「事例研究会」に
出席してきました。

四街道市、松戸市、そしてわが
佐倉市シルバー人材センター
(以下「SJJC」)の3団体が発表しま
した。その概要をご報告します。

開催日時 / 令和元年11月21日(木)
開催場所 / 千葉商工会議所
出席者 / 57名

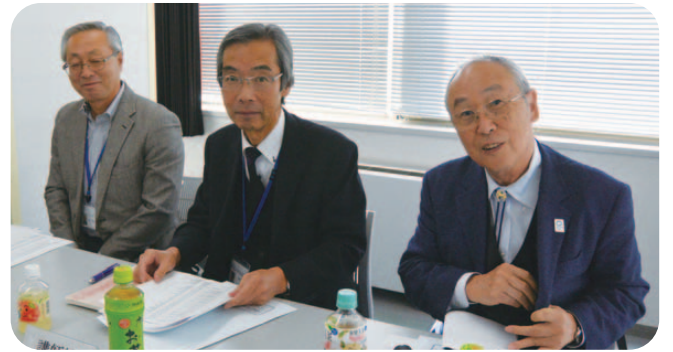


① 佐倉市SJJC (会員数1,105名)

「女性会員の増強及び就業開拓について」

田中千俊会長、コーディネーター山崎博己さん、山田重雄さん
超高齢化の時代、人生の第1ラウンドは労働力で、第
2ラウンドは定年のない「老働カ」になるといいう軽妙
なイントロから説明に入りました。

「入会説明会・就業相談会」については、「こうほう佐
倉」、ホームページ、商工会議所掲示板、公民館・福祉セ
ンターに置いたパンフレットなどで周知しています。
また、来場者調査分析による効率的な会場の設定、ハ
ローワーク成田での面談勧誘、女性限定の日の設定、説
明会場のパネル展示などの演出、全理事が分担して参
加し信頼度向上を図るなどの取り組みを行っています
。会場はレインボープラザ、ミレニアムセンター、志
津公民館で、特にミレニアムセンターでの就業相談会
は効果的だったことでした。



会員数は増加傾向で
女性比率が向上してい
ます。女性入会率の向
上の理由を考察する
と、働く意欲が男性よ
り上、職種の幅が広い、
どんな条件にも前向き
に検討する、女性向き
の業務依頼が多い、知
人・友人が男性に比べ
て多く伝達スピードが
速いなどがあげられる
とのことでした。

作戦や訪問営業など積極的に行っています。結果、契約
企業数・企業請負就業者数とも伸びているそうです。
企業が高齢者を雇用する理由としては、弾力的な就
業条件で雇用できるから、若年の雇用が難しいからと
いった理由以外に、高齢者の労働意欲、信頼性、
用したいから、高齢者の専門能力を活
勤意欲を評価しているからといった肯定
的な理由があるようです。会員の中には
高度な能力を
持った方がお
り、今後も力
を入れていき
たいとのこと
でした。



山崎さん

の、立て板に水の説明がお
見事でした。お疲れ様でし
た。



「会員増強活動について」

③ 四街道市SJJC (会員数591名)

従来そのまま推移すると、数年後には会員数が
大幅減少になるとの予測があり、このままだと
事業の運営自体が困難になってしまうので、昨
年4月に「会員増強促進委員会」を組織し、総合
的な会員増強活動に取り組んでいます。
取り組みの概要は、新規会員が入りやすい
制度・仕組みの改革、「楽しさ・明るさ・信頼」を
キーワードとした市民への啓発活動、家事援
助サービス事業など女性の就業機会の拡大、
関連する団体や会議への積極参加などで、全
会員が参画した「総合的な活動」を展開しているそう
です。新規事業として、月2回市政たより等の冊子を全
戸に配布するポスティング事業を開始、SJJCのPR
パンフも全戸に配布しているとのことでした。

事務局長補佐 大山晴次さん

② 松戸市SJJC (会員数2,116名)

「子育て支援の取り組みについて」



業務係主任 畑山康弘さん

子育て関連受託業務に合計56
名が就業している内訳は、「公共保
育所」の清掃18カ所36名、「民間保
育園」の園児見守り3カ所3名、
清掃3カ所9名、駐輪・駐車案内1カ所1名、「民間小規
模保育施設」の園児見守り3カ所7名となっています。
子育て支援分野での会員拡大の取り組みとしては、
保育・子育て分野への就業希望者向け女性限定特別入
会説明会を開催、入会登録の手続きを簡素化、入会促進
用DVDを明るい雰囲気になりユニークななどをしてい
るとのことです。就業開拓や広報・普及啓発につい
ても、市役所との連携が密だと感じられました。

参加しよう!



ツネイチ 月1の清掃活動で、 地域に貢献!

志津地区

京成志津南

毎月第1日曜日朝7時に京成志津駅南口から南へ徒歩1分、志津ステーションビル左側路地の駐輪場前に集し活動しています。



早朝にも関わらず毎月15~20名の会員が活動しています。清掃箇所は、志津駅南北線路沿いから沿線住宅街と幅広く、30分程の清掃ですが駅周り繁華街でもあり、空き缶や吸い殻、一般ゴミが捨てられています。特に、線路脇のゴミが多く電車の往来に注意しながら清掃しています。清掃後は、指定場所に置かれますが、心ない方が家庭ゴミをそこに捨てていくのが悩みです。

宮ノ台

毎月第3日曜日朝7時、井野中学校側の元マックスバリュー前駐車場に集し、毎月10~15名の会員が活動しています。この地域は、中学校に加え、北公園・宮の杜公園と大きな公共場所がありますので、30分の清掃は自然と足早になりますが、それでも3~4袋の収穫(?)があります。早朝の2キロ程度の散歩と思えば三文の得です。12月には新しいスーパーが開店しますので、おのずとゴミが増えるかも知れませんが、それはそれで会員有志の清掃に力が入るところです。



清掃活動の長所・短所

▶短所 ※朝が早いこと ※ゴミ袋とゴミばさみを持ち歩く不審者と思われる(かも?)

▷長所 ※美容健康散歩により、明日からのやる気が増進すること ※見知らぬ方から、「ご苦労様です!」と思わぬ言葉を戴いた時の嬉しさ ※今までお付き合いのなかった近所の会員と知り合いになれること ※清掃後、飲み物と参加スタンプがもらえることそして何よりも、シニアパワーが健在であることを立証できることです。さあ、皆さんも積極的に参加しましょう!



取材担当/広報委員 葛西 正敏

| 清掃場所 (集合場所) | 実施日 | 開始時刻 |
|---------------------|-------|--------|
| 宮ノ台 (元マックスバリュー前駐車場) | 第3日曜日 | 通年7:00 |
| ユーカリが丘 (跨線橋下駐輪場前) | 第3日曜日 | |
| 京成志津南 (京成志津駅南口駐輪場前) | 第1日曜日 | |
| 西志津 (西志津 市スポーツ広場) | 第3日曜日 | |
| 中志津 (中志津中央商店街裏) | 第1日曜日 | |

根郷・弥富地区

根郷弥富地区のボランティア清掃活動は、JR佐倉駅南口周辺地区で行っています。

毎月第2日曜日、4~10月は7時に、11~3月は7時30分に、JR佐倉駅南口駅前広場の東側に集合しています。取材は11月10日(日)に行いました。参加者はまず名簿に記載し、ポイントカードに認印を押してもらいます。今回の参加者は、26人でした。なお、昨年度の皆勤者は、8人いらっしゃるとのことでした。

三須地区長の声掛けで皆さんに集してもらい、まず新入会員の紹介があり、



次にラジオ体操で体をほぐします。その後いよいよ清掃活動の開始です。それぞれゴミばさみとごみ袋を持って散開、南側は信号のある大通りまで、東西は駅広を中心に約500

メートルの範囲で、路上のごみを集めます。この範囲には、駅の乗降者はもちろん、スーパーやコンビニ、居酒屋、パチンコ屋、公園などがありますので、ペットボトル、空き缶、吸い殻などのごみが結構集まります。各々巡して戻り、拾ってきたごみを分別して、まとめます。

最後に、ご苦労様のお茶の配布があり、地区長から伝達事項が伝えられて、終了となりました。全体で約30~40分程度の作業でした。

佐倉市の顔の一つともいえるJR佐倉駅南口周辺の美化に寄与すると共に、同じ地区のお仲間を知る良い機会ですので、ぜひご参加ください。

取材担当/広報委員長 長田 成児

| 清掃場所 (集合場所) | 実施日 | 開始時刻 |
|---------------------|-------|--------------------------|
| JR 南 (JR 佐倉駅 南口階段前) | 第2日曜日 | 4~10月 7:00 11~3月 7:30 |



安全運転シルバー教室

佐倉市、佐倉警察署、シルバー人材センター共催で「千葉県オールトヨタ」に協力いただき、11月19日「火」岩名運動公園に於いて午前と午後の2回、「安全運転シルバー教室」を開催、76名が受講しました。佐倉市道路維持課長の挨拶で始まり、トヨタ社のインストラクターによる説明の後、3グループに分かれて実践しました。

サポカーに同乗し、衝突被害軽減ブレーキの同乗体験では一回目は、ドライバーは操作せず、車が感知してブレーキが掛かり、二回目は、衝突の危険を感じた。二回目のドライバーが衝突を回避する方が衝撃が少なく安全性も高いと感じました。

踏み間違い時サポブレーキの体感では、運転はしていませんでしたが、いくらアクセルを踏んでも進まない。早くこの装置が開発されていたら、と思いました。自動ハイビームと車線逸脱アラートの必要性などについての説明が車内でありました。また、高齢者のために、飲酒擬似体験と死角体験のほか、俊敏性測定体験や、反射材ブレスレットワークシヨップがあり、会場の使用電源はプラグインハイブリッドカーからでした。佐倉警察署から振込詐欺防止の講話もあり、有意義な時を過ごしました。

参加者から、沢山のご感想をいただきました。その一部を紹介します。

◆「なるほど、カメラと電波と音波で検知するんだね！」

◆「安全運転技術がいくら進歩しても、それをやるのは人間で機械に誤差0ということはありません。最後は運転者自身の運転技術・反応力・判断力だということ、忘れてはいけません。」

◆「安全に対してのメーカーの考え方、安全装置の現状と同乗体験が出来て有意義な催だったと思います。ただ、安全装置は補助に過ぎず、ドライバーの安全に対する心掛けが一番との認識を再確認しました。」



僕なら大丈夫

取材担当／広報副委員長 岩淵 功

安全運転シルバー教室の様子はスマホでご覧下さい



【動画】



写真愛好会

写真同好会は会員数26名(内男性18名、女性8名)の写真好きの方が集まる同好会で、会長は松本日出夫さんが務めています。

会の設立は2005年で今年14年を迎えます。同好会の主な活動には年6回の撮影会と年2回の展示会があります。撮影会の被写体は人物の場合も時にはありますが、主に風景写真で県内の観光地はもとより、首都圏にも撮影地を求めに行っています。因みに今年の撮影会は1月に不忍池界限、4月に千鳥ヶ淵のサクラ、6月佐原のあやめ祭り、7月房総の村と坂田ヶ池、9月成田芸能まつり、12月に横浜の三溪園と盛りだくさんです。また、撮影会で撮った作品はワークプラザ2階の展示室に展示されています。

年2回の展示会は5月には佐倉市立美術館、11月には白井公民館でそれぞれ開催されています。最近の展示会は11月12日から11月16日まで白井公民館で行われ、今回で30回目を迎え、会員20名の方が、一人3点計59作品を出品しました。



会長の松本さんは元々機械いじりが好きで、中学校の頃おじさんが二眼レフを持っていたことからカメラに興味を持つようになり、自宅に暗室を持ち自分で現像するまでになったということです。そして、それまで自己流で行っていた写真撮影をカメラメーカーに就職後、先輩から撮影技術の指導を受けたことから、本格的に写真撮影をするようになったということです。今では趣味というよりも、生活の一部というようになりました。写真を趣味にしたい方、友達の欲しい方、写真同好会に入会をしてみませんか。初心者の方も歓迎します。

ご希望の方は松本日出夫さんまでご連絡下さい。

☎ 043・489・8412

取材担当／広報委員 田端 直樹

写真同好会の様子はスマホでご覧下さい



【動画】

